

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 九州財務局長

【提出日】 平成26年2月10日

【四半期会計期間】 第18期第2四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）

【会社名】 株式会社ビューティ花壇

【英訳名】 Beauty Kadan Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 三島 美佐夫

【本店の所在の場所】 熊本県熊本市南区流通団地1丁目46番地

【電話番号】 096-370-0004

【事務連絡者氏名】 取締役コーポレート本部長 田口 絹子

【最寄りの連絡場所】 熊本県熊本市南区流通団地1丁目46番地

【電話番号】 096-370-0004

【事務連絡者氏名】 取締役コーポレート本部長 田口 絹子

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第17期 第2四半期連結 累計期間	第18期 第2四半期連結 累計期間	第17期
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年7月1日 至 平成25年6月30日
売上高 (千円)	2,420,978	2,902,106	5,142,396
経常利益又は経常損失() (千円)	45,404	28,963	175,823
四半期純損失()又は当期純利益 (千円)	4,055	20,431	85,573
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	4,694	20,384	120,778
純資産額 (千円)	605,513	575,412	734,991
総資産額 (千円)	2,492,472	3,348,388	2,671,140
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額() (円)	0.97	4.81	20.27
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-		
自己資本比率 (%)	21.0	17.2	23.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	259,496	226,220	395,855
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	68,885	176,547	256,557
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	27,800	523,064	57,859
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	743,336	901,749	773,847

回次	第17期 第2四半期 連結会計期間	第18期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.69	8.54

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第17期第2四半期連結累計期間及び第17期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第18期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。
5. 平成25年7月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますが、第17期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()を算定しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれる事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(生花祭壇事業)

主要な関係会社の異動はありません。

(生花卸売事業)

平成25年10月1日にマイ・サクセス株式会社の株式を取得し、生花輸入・販売を主たる事業とする同社が連結子会社となりました。

(プライダル装花事業)

主要な関係会社の異動はありません。

(土木・建築事業)

主要な関係会社の異動はありません。

(その他の事業)

主要な関係会社の異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクに重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政権交代後の追い風を受けた製造業を中心に景況感が改善し、徐々に景気回復の兆しが見え始めたものの、一方で円安による原材料価格の上昇や、平成26年4月の消費税増税等による個人消費低迷の懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、このような状況の中、取巻く環境の急激な変化に対応するための体質強化を図るべく、積極的なM&Aの推進及び拠点の新設、大幅な組織改編等、各事業における売上拡大へ向けた施策を実施してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、2,902,106千円(前年同期比19.9%増)、利益面におきましては諸経費や人件費及びその他販売管理費の削減を推進しておりますが、メイン事業である生花祭壇事業における売上高が、計画より低調に推移したことに伴い、営業損失は58,093千円(前年同期は42,313千円の営業利益)、経常損失は28,963千円(前年同期は45,404千円の経常利益)、四半期純損失は20,431千円(前年同期は4,055千円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、1,559,635千円(前年同期比1.6%増)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の平成25年7月から平成25年11月までの売上高は240,964百万円(前年同期比3.0%増)、取扱件数は170,182件(前年同期比3.3%増)と葬儀単価はやや低下しつつも

件数が増加し、売上は拡大している状況です(同調査は、平成25年4月分より葬儀業において、一部調査対象の追加等が行われており、平成25年3月以前の数値はリンク係数で除した数値で前年比較を行っております)。このように葬儀業全体では市場は拡大しておりますが、葬儀業における各カテゴリー(葬祭専門事業者、冠婚葬祭業者、農業協同組合、新規参入事業者等)別や地域別にみるとその状況は均一ではありません。特定のカテゴリー事業者や地域では社会構造の変化に伴い、消費者の価値観やニーズも急激に変化しつつあり、葬儀の小型化や単価の下落傾向が続いております。

このような状況の中で、当事業では単価下落による売上の減少をカバーするべく、拠点新設や大幅な組織改編、低価格帯商品の企画提案等による、新規顧客獲得・既存顧客の発注シェアアップやリピート件数獲得を図ってまいりました。

具体的には、平成25年10月に「関東受注センター」を新設し関東地区における機動的な受注システムを構築、同月に東京都新宿区に「落合営業所」、同年12月には「長野支店」をそれぞれ新設するなど売上拡大へ向けた施策を実施し、更には加工物流センターにおける商品規格を見直すなど、原価低減による粗利益率向上へも取り組みました。

一方で、台湾子会社の美麗花壇股份有限公司による事業再編の一時的な収益の悪化、円安による原価率の上昇、1件あたりの施工単価の下落傾向により営業利益は66,872千円(前年同期比65.9%減)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業の売上高は、544,084千円(前年同期比23.0%増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(平成25年12月)によると、平成25年7月から平成25年12月までの切花累計の取扱金額は31,133百万円(前年同期比4.2%増)、数量では474百万本(前年同期比1.9%減)と金額ベースでは増加、数量ベースでは減少傾向にあります。当事業では、引き続き既存顧客並びに新規顧客への積極的な販売促進活動が奏功し、その結果売上数量・売上金額ともに増加傾向にありましたが、組織改編等に伴う販売管理費増加の影響により、営業利益は68,108千円(前年同期比12.4%減)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は252,062千円(前年同期比73.1%増)となりました。少子化と非婚化の影響を受け、婚姻件数は減少傾向にあるものの、オリジナル挙式志向の高まり、結婚年齢の上昇等による費用の増加を背景に大きな市場規模が保持されております。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、平成25年6月から平成25年11月までの結婚式場業の売上高は80,824百万円(前年同期比1.3%減)、取扱件数は27,239件(前年同期比0.7%減)となっております。ブライダル装花事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、平成25年1月に株式会社Standing Ovationよりブライダル装花事業を譲り受け事業拡大を図ったほか、前述の全社基本方針を徹底した結果、営業利益は49,366千円(前年同期比120.9%増)となりました。

(土木・建設事業)

土木・建築事業の売上高は419,980千円(前年同期比114.4%増)となりました。土木・建設事業は熊本市内及びその近郊にて事業を行っております。熊本県内の近年の工事内容を見ると、災害対策として河川などの維持・修繕工事に加え、安倍政権の経済政策「アベノミクス」による公共投資の増加が寄与しております。今後もこの傾向は暫く堅調に推移するものと思われれます。しかしながら、公共工事件数の大幅な増加に伴う資材や人件費の高騰により、営業利益は10,977千円(前年同期は7,348千円の営業損失)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業及び不動産管理事業を行っております。売上高は126,343千円（前年同期比23.1%増）、営業損失は4,854千円（前年同期は7,110千円の営業損失）となりました。システム開発事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発を行っております。不動産管理事業は、不動産の取得、処分、貸借及び管理を行っております。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ677,248千円増加し、3,348,388千円となりました。これは主に完成工事未収入金の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ836,828千円増加し、2,772,976千円となりました。これは主に、短期借入金の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ159,579千円減少し、575,412千円となりました。これは主に、利益剰余金、少数株主持分の減少によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べ127,901千円増加し、901,749千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果使用した資金は226,220千円（前年同期は259,496千円の獲得）となりました。これは主に、売上債権の増加額294,222千円と仕入債務の増加額119,444千円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は176,547千円（前年同期は68,885千円の使用）となりました。これは主に、関係会社株式の取得による支出111,021千円、有形及び無形固定資産の取得による支出92,471千円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果獲得した資金は523,064千円（前年同期は27,800千円の獲得）となりました。これは主に、借入金の純増589,371千円の方で、配当金の支払額25,740千円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,600,000
計	17,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,076,000	5,076,000	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株 あります。
計	5,076,000	5,076,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日		5,076,000		213,240		133,240

(6) 【大株主の状況】

平成25年12月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社MMC	熊本県熊本市中央区	1,000,000	19.70
三島 美佐夫	熊本県熊本市中央区	907,400	17.88
謝花 斉	沖縄県中頭郡	229,400	4.52
ビューティ花壇従業員持株会	熊本県熊本市南区流通団地1丁目46番	201,200	3.96
三島 志子	熊本県熊本市東区	120,000	2.36
清水 康	東京都新宿区	100,000	1.97
畑 美智子	奈良県桜井市	84,600	1.67
株式会社河野メリクロン	徳島県美馬市脇町大字北庄562-1	68,800	1.36
河野 通郎	徳島県美馬市	46,200	0.91
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1丁目6-1	41,200	0.81

計		2,798,800	55.14
---	--	-----------	-------

- (注) 1. 上記のほか当社所有の自己株式 855,700株 (16.86%) があります。
2. 平成25年5月17日開催の取締役会決議により、平成25年7月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 855,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,220,300	42,203	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
発行済株式総数	5,076,000	-	-
総株主の議決権	-	42,203	-

(注) 「完全議決権株式(自己株式等)」欄は、全て当社保有の自己株式であります。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ビューティ花壇	熊本県熊本市南区流通団地1-46	855,700		855,700	16.86
計		855,700		855,700	16.86

(注) 上記「自己株式等」は、全て当社保有の自己株式であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年7月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人よつば総合事務所による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	773,847	901,749
受取手形及び売掛金	497,759	676,940
完成工事未収入金	2,639	200,870
商品	5,798	6,950
仕掛品	1,956	3,520
原材料及び貯蔵品	23,920	37,246
未成工事支出金	308	14
その他	101,862	143,602
貸倒引当金	15,552	16,484
流動資産合計	1,392,539	1,954,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	386,132	431,179
減価償却累計額	148,680	161,921
建物及び構築物(純額)	237,451	269,257
車両運搬具	170,650	191,735
減価償却累計額	91,280	113,691
車両運搬具(純額)	79,369	78,043
工具、器具及び備品	195,546	190,944
減価償却累計額	145,818	142,520
工具、器具及び備品(純額)	49,727	48,424
土地	242,627	235,091
その他	21,211	28,594
減価償却累計額	11,096	11,730
その他(純額)	10,114	16,864
有形固定資産合計	619,290	647,681
無形固定資産		
のれん	114,716	150,869
その他	9,996	19,573
無形固定資産合計	124,713	170,442
投資その他の資産		
投資不動産	182,571	210,697
減価償却累計額	13,404	14,726
投資不動産(純額)	169,166	195,971
差入保証金	170,836	160,753
その他	242,477	252,893
貸倒引当金	47,884	33,764
投資その他の資産合計	534,596	575,853

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
固定資産合計	1,278,600	1,393,977
資産合計	2,671,140	3,348,388
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	113,929	302,191
短期借入金	453,507	895,000
1年内返済予定の長期借入金	375,463	438,031
1年内償還予定の社債	25,000	20,000
未払金	66,398	77,858
未払法人税等	49,156	17,617
賞与引当金	6,911	4,920
その他	269,029	337,124
流動負債合計	1,359,395	2,092,743
固定負債		
社債	40,000	30,000
長期借入金	488,516	603,327
退職給付引当金	27,696	30,955
その他	20,540	15,950
固定負債合計	576,753	680,232
負債合計	1,936,148	2,772,976
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	142,056	142,056
利益剰余金	438,095	391,923
自己株式	156,922	178,643
株主資本合計	636,468	568,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410	486
為替換算調整勘定	777	5,261
その他の包括利益累計額合計	1,188	5,747
新株予約権	-	1,087
少数株主持分	97,334	-
純資産合計	734,991	575,412
負債純資産合計	2,671,140	3,348,388

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
売上高	2,420,978	2,902,106
売上原価	1,924,601	2,439,491
売上総利益	496,376	462,615
販売費及び一般管理費	¹ 454,063	¹ 520,708
営業利益又は営業損失()	42,313	58,093
営業外収益		
受取利息及び配当金	319	552
受取賃貸料	5,784	10,242
為替差益	-	79
その他	11,850	33,862
営業外収益合計	17,954	44,737
営業外費用		
支払利息	8,007	7,543
不動産賃貸費用	2,036	2,513
為替差損	3,548	-
その他	1,271	5,551
営業外費用合計	14,863	15,608
経常利益又は経常損失()	45,404	28,963
特別利益		
受取損害賠償金	-	17,438
その他	-	118
特別利益合計	-	17,556
特別損失		
固定資産除売却損	9,460	3,300
長期前払費用償却	-	7,857
その他	1,909	237
特別損失合計	11,370	11,395
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	34,034	22,802
法人税、住民税及び事業税	25,678	6,727
法人税等調整額	3,525	926
法人税等合計	22,152	5,800
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	11,882	28,603
少数株主利益又は少数株主損失()	15,938	8,171
四半期純損失()	4,055	20,431

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	11,882	28,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,470	55
為替換算調整勘定	5,717	8,163
その他の包括利益合計	7,187	8,218
四半期包括利益	4,694	20,384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,384	15,886
少数株主に係る四半期包括利益	13,079	4,497

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	34,034	22,802
減価償却費	38,684	41,226
のれん償却額	5,313	13,421
差入保証金償却額	1,896	569
長期前払費用償却額	5,079	13,454
貸倒引当金の増減額(は減少)	559	15,046
賞与引当金の増減額(は減少)	8,075	1,991
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,203	2,555
受取利息及び受取配当金	319	1,188
受取賃貸料	5,784	10,242
補助金収入	3,099	950
支払利息	8,007	7,543
固定資産除売却損益(は益)	9,460	3,300
売上債権の増減額(は増加)	47,941	294,222
たな卸資産の増減額(は増加)	11,283	12,432
その他の資産の増減額(は増加)	7,539	28,164
仕入債務の増減額(は減少)	58,990	119,444
未成工事受入金の増減額(は減少)	68,501	26,711
その他の負債の増減額(は減少)	24,477	17,310
その他	780	14,190
小計	284,980	190,315
利息及び配当金の受取額	319	1,188
賃貸料の受取額	4,508	8,586
補助金の受取額	3,099	950
利息の支払額	6,629	8,330
法人税等の支払額	26,782	38,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	259,496	226,220
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	9,957
貸付けによる支出	2,000	570
貸付金の回収による収入	2,369	1,873
関係会社株式の取得による支出	37,000	111,021
有形及び無形固定資産の取得による支出	40,961	92,471
有形及び無形固定資産の売却による収入	-	1,461
保険積立金の積立による支出	17,691	17,691
差入保証金の差入による支出	723	5,158
差入保証金の回収による収入	19,841	21,752
その他	7,279	15,320
投資活動によるキャッシュ・フロー	68,885	176,547

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	360,000	540,000
短期借入金の返済による支出	248,890	73,507
長期借入れによる収入	320,000	350,000
長期借入金の返済による支出	348,145	227,121
社債の償還による支出	15,000	15,000
自己株式の取得による支出	-	21,720
配当金の支払額	37,067	25,740
その他	3,096	3,847
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,800	523,064
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,753	7,605
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	214,658	127,901
現金及び現金同等物の期首残高	528,677	773,847
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 743,336	¹ 901,749

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
当第2四半期連結会計期間において、マイ・サクセス株式会社の株式を取得したことにより、マイ・サクセス株式会社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
給料手当	136,022千円	155,802千円
退職給付引当金繰入額	3,158千円	1,347千円
賞与引当金繰入額	745千円	1,627千円
貸倒引当金繰入額	629千円	2,555千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
現金及び預金勘定	743,336千円	901,749千円
現金及び現金同等物	743,336千円	901,749千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月21日 定時株主総会	普通株式	37,067	1,775	平成24年6月30日	平成24年9月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年9月20日 定時株主総会	普通株式	25,740	1,200	平成25年6月30日	平成25年9月24日	利益剰余金

(注)平成25年7月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株の割合で株式分割を行っています。当該株式分割を考慮した場合、1株当たり配当額は6円となります。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	土木・建設 事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	1,534,407	442,431	145,645	195,843	2,318,327	102,650	-	2,420,978
セグメント間の内部売上高又は振替高		448,587	4,246		452,834	10	452,844	
計	1,534,407	891,019	149,891	195,843	2,771,162	102,660	452,844	2,420,978
セグメント利益又は損失()	196,263	77,749	22,344	7,348	289,008	7,110	239,585	42,313

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 239,585千円には、セグメント間取引消去 17,603千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 221,981千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	土木・建設 事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	1,559,635	544,084	252,062	419,980	2,775,763	126,343		2,902,106
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	490,029	2,314		492,355	1,331	493,687	
計	1,559,647	1,034,113	254,377	419,980	3,268,118	127,675	493,687	2,902,106
セグメント利益又は損失()	66,872	68,108	49,366	10,977	195,324	4,854	248,563	58,093

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業と不動産管理事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 248,563千円には、セグメント間取引消去 17,470千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 266,033千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

生花卸売事業セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間にマイ・サクセス株式会社の株式を取得し連結子会社としました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては41,374千円であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 マイ・サクセス株式会社

事業の内容 花卉・鉢物及び園芸用品の輸出入業・卸売販売

(2) 企業結合を行った主な理由

マイ・サクセス株式会社の生花輸入・販売のノウハウと、株式会社ビューティ花壇で行っている生花輸入取引の統合により経費削減などの相乗効果が見込まれること、及び補完し合う商材・販売先が拡大することにより当社の仕入安定のみならず、広く生花を生業とする会社に対し更なる競争力ある商品の提供・提案に繋がることから、基本合意書を締結し株式を取得いたしました。

(3) 企業結合日

平成25年10月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

マイ・サクセス株式会社

(6) 取得した議決権比率

取得直前に所有していた議決権比率 0%

取得した議決権比率 100.0%

取得後の議決権比率 100.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が同社の議決権の過半数を所有し同社を支配するに至ったためです。

2. 四半期連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

当第2四半期連結累計期間においては、貸借対照表のみ連結し、四半期連結損益計算書には被取得企業の業績を含んでおりません。

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	現金	0千円
取得に直接要した費用	アドバイザー費用等	3,100千円
取得原価		3,100千円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

41,374千円

(2) 発生原因

今後の事業展開により期待される将来の超過収益力です。

(3) 償却方法及び償却期間

5年にわたる均等償却

5. その他重要な特約等

株式譲渡の実行後、マイ・サクセス株式会社は直ちに株主割当増資を実施し、当社が割当株式全部を引受けております。

引き受ける本件株式の種類及び数 普通株式20,000千株

本件株式引受けに係る払込金額 20,000千円(1株につき1円)

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額()(円)	0.97	4.81
四半期純損失金額()(千円)	4,055	20,431
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	4,055	20,431
期中平均株式数(株)	4,176,600	4,244,483

- (注) 1. 前第2四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当第2四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
3. 平成25年7月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますが、前第2四半期連結累計期間の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純損失金額()を算定しております。

(重要な後発事象)

株式会社敷津花壇及び同社の関連会社であるエス・ケイ企画株式会社の株式取得(子会社化)に関する基本合意書の解除

当社は、株式会社敷津花壇及び同社の関連会社であるスマートディスプレイ株式会社(スマートディスプレイ株式会社については平成26年1月1日付にて株式会社敷津花壇を存続会社とする吸収合併により消滅しております)並びにエス・ケイ企画株式会社(以下「同社」という。)との間で、基本合意書の締結後株式譲渡契約書締結へ向け調整を行ってまいりましたが、平成26年1月28日開催の当社取締役会において、当該基本合意書を解除することを決議いたしました。

(1) 基本合意を解除するに至った理由

当社は、同社との間で基本合意書締結以後、同社株式の取得へ向けたデュー・デリジェンスを実施した結果、改めて同社の事業計画、事業シナジー等を総合的に且つ慎重に検討する必要があると判断し、同社と契約条件等の交渉を重ねてまいりました。しかしながら最終的な合意には至らず、今回の株式取得による子会社化に向けた基本合意を解除し、株式取得を中止することが適当であると判断したものであります。

(2) 契約の相手会社の名称

株式会社敷津花壇及び同社の関連会社であるスマートディスプレイ株式会社並びにエス・ケイ企画株式会社

(3) 基本合意解除日

平成26年1月28日

(4) 基本合意解除の内容

平成26年1月28日をもって、同社の株式取得に関する基本合意を解除いたしました。

(5) 基本合意解除による業績への影響

当該基本合意解除により連結業績に与える影響については、現在精査中であり、影響が見込まれる場合は速やかに開示いたします。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月10日

株式会社ビューティ花壇
取締役会 御中

監査法人よつば総合事務所

指定社員
業務執行社員 公認会計士 神 門 剛 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 高 屋 友 宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ビューティ花壇の平成25年7月1日から平成26年6月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年7月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ビューティ花壇及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。